

1 出資法人等の概要

団体名	公益社団法人 豊中市シルバー人材センター		
所在地	豊中市北桜塚 3-1-28	所管部局・課	市民協働部 暮らし支援課
設立年月日	昭和56年6月30日	代表者	理事長 高木 功
基本金・資本金		うち市出資額（率）	円（ %）
設立目的	定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。）に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		R4			R5			R6		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員	常勤	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤	12	1	0	10	0	0	11	0	0
職員	常勤	8	0	1	9	0	1	9	0	0
	非常勤	1	0	0	1	0	0	1	0	0
役員の平均年間報酬（R4年度、千円）※常勤のみ		無			職員の平均年間給与（R5年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			6,100千円・52.1歳		

3 財務関係

		金額（千円）		
		R3	R4	R5
損益計算書	総収入	706,159	686,903	684,553
	（うち市受入金）	34,100	33,100	35,100
	総費用	694,574	657,467	667,742
	経常損益	11,585	29,436	16,811
	当期損益	12,034	31,618	16,811

		金額（千円）		
		R3	R4	R5
貸借対照表	資産の部合計	185,930	200,846	227,264
	負債の部合計	85,059	68,356	77,963
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	100,871	132,490	149,301
	利益剰余金	100,871	132,490	149,301

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		R3	R4	R5	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	34,100	33,100	35,100	
		34,100	33,100	35,100	シルバー人材センター事業
	委託料	166,842	160,366	168,620	放置自転車等一括業務、公園多機能便所清掃業務など
	指定管理委託料				
	その他				
	計				
ストック	貸付金残高				
	債務保証残高				
	損失補償残高				
	出資金				
	その他				
計					

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	R3	R4	R5
就業機会確保事業	仕事を実施した件数 会員へ就業機会の提供	契約件数 就業率(派遣除く)	3,645 件 71.2%	3,442 件 71.1%	3,000 件 64.9%
労働者派遣事業	会員へ就業機会の提供	延べ就業人数 契約件数 就業率(派遣含む)	38,007 人 247 件 89.8%	40,140 人 286 件 90.6%	41,352 人 255 件 84.1%
有料職業紹介	会員へ就業機会の提供	延べ就業人数	15 人	15 人	15 人
普及啓発事業	豊中市高齢者に対する加入率 仕事の申し込み件数	粗入会率 申込件数	1.3% 4,413 件	1.3% 4,400 件	1.3% 3,712 件

(2) 財務指標

指標	視点	内容	R3	R4	R5
市受入金比率 市受入金/経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	4.83	4.82	5.12
人件費比率(%) 人件費/経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	13.75	12.33	12.39
管理費比率(%) 管理費/経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.23	1.25	1.34
正味財産比率(%) 正味財産合計/(負債+正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	54.25	55.96	65.69
固定比率(%) 固定資産/正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	26.21	16.45	45.01
流動比率(%) 流動資産/流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	243.13	320.94	248.81

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>超高齢社会にあってセンターは地域社会に欠かせない機関として、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、臨時的・短期的あるいは軽易な業務を、「請負・委任契約」「労働者派遣事業」「有料職業紹介事業」などにより、「グループ就業」「ローテーション就業」などの多様な働き方を高齢者に提供し、生きがいや居場所づくり、社会参加、健康の保持など、地域の高年齢者が参画できる場の提供をおこなっている。</p> <p>年齢にかかわらず、就業を希望する高年齢者はすべて入会でき、また年齢に合わせた就業機会の提供をおこなった。</p> <p>会員自らが自身の持つ経験を生かして、直接地域に貢献することのできる事業を展開している。</p>	<p>人生100年時代を迎え、80歳を超えても活躍できる就業環境等の創出に努めるため、地域のニーズを把握することや、ハローワークとの連携を深め、あらたな就業ニーズの開拓に努めていく。</p>
<p>効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>自主的な会員組織として会員が自ら事業運営をおこない、事務局はその運営を補完するために法令や社会情勢などを多方面から分析をおこない事業提案をおこなっている。</p> <p>事務の運営窓口である事務局へ、会員を組み入れることにより、会員目線での就業斡旋にも取り組んでいる。現在の高齢者を取り巻く社会情勢にあわせ、会員の経験や能力を活かした就業となるように、会員と発注者のニーズをマッチングさせている。</p> <p>事務処理のデジタル化を推進し、費用を減額させた。</p>	<p>会員の持つ能力の向上を図るために、多種多様な研修や講習会を実施し、あらたな事業に対応できるように努めていく。</p> <p>人件費をはじめ法人運営に必要な経費や事務運営の方法などの見直しをおこなったことから、適切な費用となっている。一方、法人の努力ではいかんともできない法改正による必要経費が大幅に増加し、事業拡大のための投資ができないことから、予算管理を適正におこない、必要に応じて事業を精査していく必要がある。</p>
<p>有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>新入会員の入会動機が、「生きがいづくり」から「経済的な理由」が増加している。当センターは、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、多種多様な会員の希望に応えるとともに、発注者のニーズにも多様な方法で対応し、労働力を確保している。</p> <p>会員自らが創意工夫をもって事業の実施にあたるというセンターの基本原則に従い実施している事業について積極的に推進し、事業展開の拡大から高年齢者のスキルに合わせた新たな就業機会を獲得している。</p>	<p>会員の増加には多種多様な就業機会の提供が必要であることから、法令順守の中で、発注者の多種多様なニーズに応えていけるように、従来からの業務の充実強化と新たな活動分野の開拓等を会員の能力に合わせて行っていく。</p> <p>また会員には、希望職種を見直し新たな仕事にチャレンジするよう促していく。</p>
<p>総合評価</p>	<p>65歳以上の雇用の場が少ない中、センターが提供している生きがい就業を中心とした臨時的・短期的で軽易な多様な就業は、年齢にかかわらず様々な高齢者へ安心して働く機会を提供し、社会参加を図ることができている。また、これまでと違う職種などにチャレンジできる機会を提供している。また、高年齢者が気軽に参加できるデジタルデバインド解消に向けた活動を推進しており、一定の成果が出ている。</p>	<p>センター事業は、地域の高年齢者が地域の中で活動していき、働くことで生きがいと健康の保持につなげている。多様で柔軟な就業体系がある当センター事業は地域にとって重要であり、会員等の満足度を高めていくことに加え、会員のみならず、より多くの人が参画できる魅力あるセンターづくりに努めていく。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資目的は薄れていないか ・ 市の施策の方向性に適合しているか 	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律(以下「法」という。)に基づき、定年退職者等の高齢者(以下「高齢者」という。)の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいがづくり、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた取組みを行っている。</p> <p>70歳までの高齢者就業確保措置が求められ定年の引き上げや廃止をする企業も出てくると考えられるが、退職後の生きがいがづくりや健康保持においてシルバー人材センターは引き続き重要な役割を果たすよう取り組むことを期待している。</p>	<p>高齢者の増加や健康寿命の延伸、人口動態の変化、また高齢者ニーズの多様化などにより、高齢者の多様な活躍の場が求められている社会状況を受け止め、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保するとともに、企業や社会のニーズに迅速かつ適切に対応いただき、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与を一層推進していただきたい。</p> <p>企業において定年延長や定年後に再雇用されるケースが増加している中、会員数は、昨年度に引き続き第3期中期事業計画における単年度の目標数に達している。今後も様々なメディアやネットワークを活用した新規会員の獲得や会員の満足度を高めることによる退会者の抑制に取り組んでいただきたい。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資法人等を活用するメリットはあるか ・ 出資法人等にしかできないことか 	<p>法に基づき設置された団体であり、高齢者の希望に応じて、臨時的かつ短期的な就業や軽易な業務に係る就業機会を確保するとともに組織的な提供を行って就業を援助するなど、高齢者の生きがいがづくりや健康の保持増進、社会参加の推進を図り、これらの者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与している。</p> <p>また、会員のスキル・経験の活用や社会ニーズへの対応により、活動の領域や対象は年々広がっており、今後もさらに拡大していくことを期待している。</p>	<p>特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律の施行やインボイス制度への対応など社会情勢の動向にも注視いただきながら、引き続き適正な契約形態の選択や事業実績の拡張、運営経費の縮減に努め、市民の信頼を維持・増進し、今後、増加していく高齢者のニーズに適うよう、設立の目的達成に向けた取組みを着実に遂行していただきたい。</p> <p>また、高齢者の雇用労働施策の進展については、市や関係団体等と緊密に連携して対応していただくとともに、市の無料職業紹介事業などともより一層連携することにより、相互作用で事業効果を高めていただきたい。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・ 市の関与は適切か 	<p>高齢者の希望に応じて、臨時的かつ短期的な就業や軽易な業務に係る就業機会を確保・提供することで就業を援助し、高齢者の生きがいがづくりや健康の保持増進、社会参加の推進を図り、これらの者の能力を生かした活力ある地域社会をつくっていくことは、市の施策の推進と同方向の取組みである。</p> <p>また、シルバー人材センターから市が役務を受ける契約は、契約金額によって政策目的随意契約(いわゆる3号随契)での契約締結が可能ですので、予算編成時期に積極的に活用いただくよう各課に周知している。</p> <p>なお、市から補助金及び役員(理事)派遣等の支援を行っているが、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度を一層進めていただきたい。</p>	<p>高齢者の就業機会の確保や、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進、さらに高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりは、重要な施策である。引き続き、第3期中期事業計画で目標として示している会員数を実現できるよう、市及び関係団体と協働して取組みを進めていくとともに、関連施策と連携を行っていただきたい。</p> <p>特に、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりのためには、より多くの会員の参画が重要である。新規会員の獲得とともに、地域貢献や生きがいがづくりなどを目的としている会員の退会抑制などにも取り組んでいただきたい。</p>

総合評価

高齢化が進む中、社会経済の活力を維持するためには、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりが求められており、シルバー人材センターには、今後も期待が寄せられるところである。

新たな事業領域への展開に加え、事務の効率化や就業情報の迅速な提供のため、デジタル化や ICT の活用にも積極的に取り組んでおり、引き続き社会情勢の変化に対応した取り組みを期待している。

高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを実現していくためにも、これまで以上の事業展開を期待しています。また、引き続き、第3期中期事業計画に掲げた目標を達成できるよう、新規会員獲得と退会抑制の方策の実行を望む。

新たな活動領域の開拓や事務の効率化、営業体制の強化など経営改善も引き続き進めるとともに、会員のみならず広く市民や事業者を対象とする事業を行い、地域を支える取り組みが増えていくことを期待している。